

岡山大学病院ますかっと病児保育ルーム Newsletter

vol.9 (2023.11)

子どもの異物誤嚥・窒息についての勉強会を救命救急科の先生にいただきました。

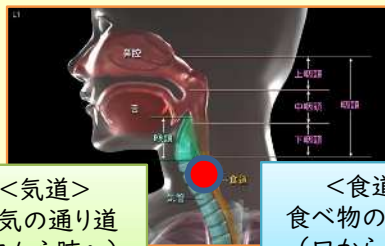
○誤嚥とは、窒息とはなにか…

【誤嚥】

異物が気道に入り込んでしまった状態

【窒息】

異物が気道をふさいでしまった状態



<気道>
空気の通り道
(口から肺へ)

<食道>
食べ物の通り道
(口から胃へ)

○なぜ子どもは起こりやすいのか…

- ・乳幼児は呼吸機能が未熟の為、長く息をこらえることができない
気道が開く時間が長く、誤嚥の機会が増える
- ・歯が生えそろっておらず、食べ物を丸呑みする
- ・咽頭(のど)の防御反射が弱い

○窒息が起こったらどうなるの?…

のどの近く
窒息になりやすい(危険!)

- ・顔色が青白い
- ・チョークサイン

肺の近く

- ・せき
- ・ゼーゼーする呼吸



チョークサイン



○窒息が起こったらどうなる…

- ・酸素が送れない→脳に障害
- ・呼吸停止の時間が長い→後遺症が残る可能性が高くなる

○窒息の応急処置…

0歳児



背部叩打法

- ・掌であごを支える
- ・掌の付け根で背中を力強くたたく

↑異物が出るまで
↓繰り返す

胸部突き上げ法

- ・掌で後頭部を支える
- ・両乳首の間を胸の1/3の深さまで圧迫

1歳児以上



腹部突き上げ法 (ハイムリック法)

- ・みぞおちの下、片方の手は握りこぶしをつくる



- ・その手で下から上に引き上げるように圧迫

○意識がない場合…

- ・異物が取れない…→呼吸停止(意識消失)→心停止
少しでも脳に酸素を送るためには**胸骨圧迫開始**

○誤嚥(窒息)を防ぐためにできること…

- ・子どもの口に入る**4cm以下**の物は身の回りに置かない
- ・野菜や果物はつぶしたり小さく切って与えましょう
- ・食べながら遊んだり走ったりすることを避けましょう
- ・子どもが食べる時は必ずそばにいきましょう

子供の口の大きさは



約4cm

トイレットペーパーの芯の直径とほぼ同じ

直径約4cm

利用定員、開設時間等

- 利用定員 6人
- 対象児童 生後6か月から小学校6年生まで
- 利用時間 月曜～金曜日 午前8時00分～午後5時30分まで

お問い合わせ

岡山市北区鹿田町2-5-1 歯学部棟3階
ますかっと病児保育ルーム
TEL 086-235-7301



ホームページはこちら